



あまみ



© Amami city

第37号

平成27年6月発行

市議会だより



網野子バイパストンネル開通式（平成27年3月22日）

第1回定例会

平成27年2月20日～3月26日

発行／奄美市議会

編集／奄美市議会だより編集委員会

〒894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号

TEL (0997) 52-1111

FAX (0997) 52-2815

Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

第1回定例会一般質問・・・2P～6P

定例会の主な議案・・・7P

請願・陳情・・・8P

常任委員会の審査概要・・・8P～9P

第一回定例会特別委員会の審査概要・・・10P

議会報告会でのご意見を紹介・・・11P

第一回定例会 第一般質問

三月五日、六日、九日の三日間で十四名の議員が市政全般について市当局に問いただきました。
要約を紹介します。

(質問順に掲載)

ふるさと納税について

元野景一
ちのの けいいちろう

(自由民主党)



問 奄美市財政政策について

奄美市の「ふるさと納税」のこれまでの歳出使途について

答 奄美市は申込の際、四つの使用目的を選択するようになっており、具体的には「集落1ブランド」集落の宝を生かした地域力の活性化。「定住促進対策」活力ある地域づくり。「人材育成」今後の奄美を担う人づくり。「地域文化の保存、継承」を提示している。現在総額三千八百七十九千円となり地

域振興基金に積み立ててある。

問 ふるさと納税に関する施策、事業を実施する為の条例制定について

自主財源の乏しい本市であるのに、積極的に「ふるさと納税」に取り組んでいる姿勢が見つけられない、もっと研究と熱意を持つべきであり、英知を結集して努力すべきではないか。



(おがみ山から名瀬市街地を望む)

答 本市においては、条例は定めていないが状況を見ながら検討していきたい。



奄美・沖縄航空運賃の低減化について

低減化について

奥輝人
おく てるひと

(市民クラブ)



問 奄美、沖縄航空運賃の低減化について

答 県において、交流需要喚起対策として、奄美群島と沖縄間の航空運賃が軽減されるよう、関係者と協議を進めている。

問 芦花部地区には、保育所がなく、子育てをする保護者の負担が増加している。対策等はないのか。

答 地域の拠点づくりや、子育て支援は重要なテーマである。地域の実情を踏まえ小規模保育に対応する、家庭的保育など、地域型保育のあり方など

を検討している。

問 笠利地区における新規住宅の建設について

答 各集落から多くの要望があり地域の実情等を考慮し、総合的に判断していく。

問 笠利地区の商店の活性化について

答 広報紙等により、地元商店の利用を周知することともに、地域の商店の魅力を打ち出していけるような方策を、検討していく。



琉球エアコミュニティー

永田墓地整備の状況と

共同納骨堂設置について

たけやま
竹山 耕平 (新政会)



問 永田墓地整備の状況と共同納骨堂設置について

答 戸籍追跡困難な旧墓地八十五基と新墓地百十七基については、使用権消滅期限が経過する平成二十八年度に無縁と認定し二十九年度には墓地台帳作成を目指す。共同納骨堂は必要だと考え、今後墓地検討委員会(仮称)を設置し納骨堂整備を検討していく。

問 土曜授業実施への取り組みとインターネット規制への取組について

答 四月から土曜授業を実施する。

事前に保護者アンケートを行い、七十二パーセントの保護者が実施を望んだ。

今まで以上に豊かな学びの環境を整え、児童生徒に「生きる力」を支えるための確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む。

ネット規制については、パソコンの他に携帯電話音楽プレーヤーやゲーム機器があり、情報モラル教育を推進し、プライバシーや個人情報の保護など、モラル・ルール・マナーについての教育していく。

うつ対策・自殺予防対策について

さかえ
ヤスエ (公明党)



問 うつ対策・自殺予防対策について

答 自殺を未然に防ぐための体制を整える。本市の過去四年間の自殺者は七十人。男性の割合が高い。「じころの体温計」の導入を検討する。

問 学校図書事務について

学校図書室には、司書補など嘱託職員の長期雇用の配置ができないかを伺う。

答 学校教育における読書活動等の充実のための学校図書室の重要性が高まっていることは十分認識しているが、本市による司書配置は困難。

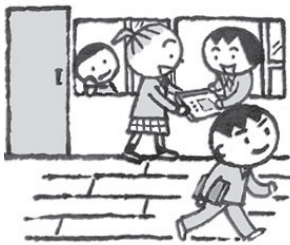
発達障害児について

問 三歳児健診でみると二

こ四〜五年で倍以上に増加。早い段階での支援へつなげる体制を整えていく。施設の増設については、必要性を見極めて対応する。障害児保育に関する専門家が少ないので、小児科医・臨床心理士・理学療法士・作業療法士等の専門機関とも連携していく。相談支援活動の充実も図っていく。

その他の質問

○教育長の出前トークについて



介護報酬引き下げの評価は

さきた
崎田 信正 (日本共産党)



問 介護問題の最大の課題のひとつに、介護職員の低賃金待遇の悪さがある、介護報酬引き下げの評価は。

答 全体でマイナス一七パーセントの介護報酬単価の引き下げが示されているが、介護現場で働く方々への処遇改善加算については人材確保の観点から改善がなされている。県とも連携をとり注視していきたい。

問 団塊の世代が、高齢期を迎えるが、介護職員の人数は足りるのか。

答 奄美市では、二〇三三年間で百五十名近くのヘルパー初任者研修受講者があるが、現場の仕事に就いているとは限らない。中学生、高校生を対象にした進路ガイダンスを開催し人材確保につなげる。

問 春日町市宮住宅敷地階段に手すりの設置を。

答 佐大熊改良団地では平成十八年度に設置しているが、春日住宅を含むその他の住宅には設置されていない。各団地の検証を行い、年次的に計画していく。



施政方針と予算編成の 基本姿勢について

関 誠之（社会民主党）



問 平成二十七年度の施政方針と予算編成の基本姿勢は。

答 合併以来の起債枠二十八億円などの財政規律を堅持し、地方創生の取り組みを進めるための三月補正予算と連動した十五か月予算とし、各種施策の推進を図る。とある。

問 二期目の重点五項目は。

答 ①雇用の創出②交流人口の拡大③子育て・教育環境づくり④安全・安心なまちへ⑤世界自然遺産登録に向けて、他に、奄振交付金を活用した沖縄との連携強化などである。

問 大島北高存続の危機的状況について、市長の対応は。

答 就職・進学率の百パーセント達成実績やきめ細やかな教育体制、北高の良さを積極的にアピールし、大島北高教育振興協議会を中心に地域等が一体となって取り組みを強化したい。

問 就職・進学率の百パーセント達成実績やきめ細やかな教育体制、北高の良さを積極的にアピールし、大島北高教育振興協議会を中心に地域等が一体となって取り組みを強化したい。

問 現在の誘致している企業、他に新たな雇用の拡大に向けた企画、誘致等の取組は。

答 合併前後に立地協定した企業は六社で地元雇用者合計百五十名を見込んでいる。また製造業（アーダンや株式会社コミュニケーション）において五十名超の雇用が生まれた。現在笠利地区内に新たな手織物の制作や洋装に用いる広幅の繊維布を製造する企業の立地が進められており約二十名の雇用を見込む。また、観光産業他、地域資源を活用する産業等の誘致に取り組む。

問 陸自部隊配備の住民説明会とミサイル部隊配置の再考を。

新たな雇用の拡大について

叶 幸與（公明党）



問 現在誘致している企業、他に新たな雇用の拡大に向けた企画、誘致等の取組は。

答 合併前後に立地協定した企業は六社で地元雇用者合計百五十名を見込んでいる。また製造業（アーダンや株式会社コミュニケーション）において五十名超の雇用が生まれた。現在笠利地区内に新たな手織物の制作や洋装に用いる広幅の繊維布を製造する企業の立地が進められており約二十名の雇用を見込む。また、観光産業他、地域資源を活用する産業等の誘致に取り組む。

問 地方版総合戦略の策定についての工程表はどのように考えているか。

答 平成二十七年の前半に基礎資料となる産業や人口社会インフラの現状や将来動向に関する専門的な調査を実施、基本目標や具体的な施策を策定委員会との意見を踏まえてまとめる。

問 さらに進捗状況を重要業績評価指標の達成度により検証し改善する仕組みを構築する。こうした工程を踏まえ、平成二十七年中に地方人口ビジョン及び地方版総合戦略を策定する。



市長の政治姿勢について

川口 幸義（無所属）



問 県の地方創生本部設置を受け、市ならではの特化した施策は。

答 郡都としての機能等役割を意識し、今回の三月補正予算や平成二十七年当初予算において、雇用対策や企業誘致支援など取り組む事業を推進していきたいと考えている。

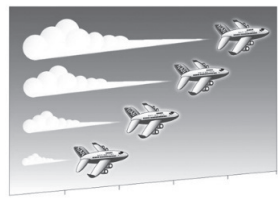
問 自衛隊配備決定後の防衛省の動向は。

答 奄美カントリークラブの一部を取得し、普通科主体の警備部隊、中距離地对空誘導弾部隊約三百五十人規模の部隊配置し、庁舎食堂等の生活関連施設やグラウンド兼緊

問 急時のためのヘリ離発着場など配備する予定。その後は基本構想策定中である。

問 朝戸の組合所有地について、要望書が提出された後、要望書が提出された購入経費を新年度予算案として本議会に上程。購入にあたり、境界の確定、抵当権の抹消、土地借入者の移転の諸準備を進め、議会上に上程し議決後に契約を交わす運びとなる。

問 朝戸の組合所有地については全会一致で可決。その後、要望書が提出された購入経費を新年度予算案として本議会に上程。購入にあたり、境界の確定、抵当権の抹消、土地借入者の移転の諸準備を進め、議会上に上程し議決後に契約を交わす運びとなる。



プレミアム商品券

発行事業について

西 公郎 (無所属)



問 中心市街地のコマ施設としてスパ施設を設置できないか。

答 市民の「ミニニティー」の場として、あるいは健康増進、公衆衛生の観点などから貴重な提言だと思う。

問 ガソリン料の更なる軽減は考えられないか。

答 奄振交付金の中から新たな事業予算を確保する必要があり課題が多々あると思う。

問 奄美市人材育成等研修事業を「やねだん」の研修に活用できないか。

答 事業の目的に合致する

ものであれば、助成することは可能。

問 プレミアム商品券発行事業について

答 今回は中元期と歳末期合わせて二回実施する予定で大型店舗の取り扱いについては実行委員会の中で協議中。

その他の質問

○ 下方、古見方、笠利、住用地区への自衛隊宿舎整備について

○ 高校生専門学校生防災サポーター制度について

○ 光ファイバー未提供地にて実施のアンケート調査について

未婚者支援事業について

安田 壮平 (無所属)



問 新年度の未婚者支援事業は。

答 縁結び事業を継続するが、「縁結びの達人」の成り手確保が課題。「結婚スキルアップセミナー」の高効果を期待したい。

問 不妊治療への医療費助成はどのような検討がされたのか。

答 新年度の地方創生関連事業に計上されていないが、県内十三市五町で行われていることを参考に、今後策定する「地方版総合戦略」に少子化対策をきちんと盛り込むことにより、「」の医療費助成の必要性を検討する。

問 地方版総合戦略の策定に際しては、地域住民の声を広く採り入れてほしいと願うが、そのためにどう取り組むか。

答 まずはアンケートや関係団体との意見交換を実施し、また策定委員会は公開を基本として開催することによって、市民の皆様が意見を出し易い環境を整える。施策毎に評価指標を設定しPDCAサイクルを回す中で、効果検証段階においても市民の皆様からご意見を頂く機会を検討する。



延長保育及び学童クラブの状況と課題について

平川 久喜 (市民クラブ)



問 延長保育及び学童クラブの運営状況と課題

答 延長保育は市内の認可保育所で夜七時まで実施認可外保育施設では名瀬地区二ヶ所が夜間保育や休日保育を実施している。学童クラブは現在市内二十一小学校区のうち七校区に八つのクラブが設置されている。運営主体は児童の保護者会で、保育料と市からの補助を基に運営を行っている。

課題は運営資金の確保が厳しい小規模校区に対する支援があげられる。

問 人・農地プランと農地中間管理事業について

答 人・農地プランは、認定農業者や新規就農者を中心経営体として位置付け話し合い活動をする内容となっている。

本市における中心経営体は合計百五十六戸ある。農地中間管理事業は、農地の貸借を農地の効率的な利用を促進し農業の生産性の向上を図るため実施。県の承認を受けた農地中間管理機構(県地域振興公社)が地主と農家の仲立ちをし、賃貸借を行う事業。



生活困窮者自立支援制度

について

渡 雅之（無所属）



問 生活困窮者自立支援制度の内容を示せ。

答 生保前段での困窮者支援で、相談支援員を配置し、更に住宅確保給付金を支給。

問 ジェネリック（後発）医薬品の普及状況と啓発は。

答 普及率は六十四・二パーセントで全国平均を十三パーセント程度上回っている。又、年間医療費は約一億円程度の削減がある。

問 今年度創設した店舗リフォーム助成制度の現状は。

答 一月末実績で十八件の

申請に対して、七百五十万円の助成を行った。今後も広報紙等でのPRを行い通り会とも連携を強化する。

問 光通信等のアンケート結果と今後の見通しは。

答 回答者の六十四パーセントが不満と感じ、その内八十七パーセントの人が通信速度・回線が遅いと回答している。

問 国民文化祭・奄美市主催事業の内容は。

答 ①民謡・民舞日本ラフェスティバル・INあまみ。②奄美芸能と黒潮文化の祭典③写真展の三事業である。

バニラエアの効果について

戸内 恭次（無所属）



問 バニラエアの効果について

答 平成二十六年七月に就航したバニラエアの効果については七月～十二月までの利用者は約二万七千人増加し、十九億八千九百万円の経済効果があった。

問 JAL、バニラエアの補助金について

答 JALグループに二億五千万円、バニラエアには九千万円である。

問 農家が安心して、自然災害を気にしないで栽培できる鉄骨ハウスを整備して、農家に貸与できないか

答 市が整備し、農家へ貸付する事業について、奄振事業をはじめ補助事業は、現在のところはない。

問 観光業促進の為、景観保護条令等は整備できないか。

答 世界自然遺産登録に向けて景観の保全形成に意識を持って取り組んでいたというよう機運醸成を図りたい。

その他の質問

○空港、ターミナル拡張の件

○笠利地区の電波難聴の件

○市内の災害無線難聴の件

市制十周年について

栄 勝正（市民クラブ）



問 市制十周年にあたって、いろいろな行事やイベントが計画されているが、記録や記憶に残るような計画はどのように考えているのか。

答 奄美市市制十周年記念式典や各種事業を開催するなど、平成二十七年度は、未来へつなぐ、節目の年にふさわしい事業を展開するなど、従来と異なる取り組みを実施していきたいと考えている。市民総出の宝探しの計画もしている。

問 要支援1、2改正と介護報酬の値上げについて、どのように考えているのか。

答 訪問介護、通所介護ともに現行の内容は保障しつつ、サービスの低下にならないよう取り組んでいく事としている。地域支援事業の予算額に上限が設けられている事などを考慮すると、介護予防に力を入れ、元気高齢者の数をいかに増やす事が出来るかが重要であると認識している。

その他の質問

○ポイ捨て条例

○地方自治基本条例



第 1 回 定 例 会 の 主 な 議 案

件 名	議決結果
平成 26 年度奄美市一般会計補正予算（第6号）について	原案可決
平成 26 年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）について	原案可決
平成 26 年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
平成 26 年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）について	原案可決
平成 26 年度奄美市訪問看護特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
平成 26 年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
平成 26 年度奄美市水道事業会計補正予算（第3号）について	原案可決
奄美市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
和解について	原案可決
平成 27 年度奄美市一般会計予算について	原案可決
平成 27 年度奄美市国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決
平成 27 年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算について	原案可決
平成 27 年度奄美市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
平成 27 年度奄美市介護保険事業特別会計予算について	原案可決
平成 27 年度奄美市訪問看護特別会計予算について	原案可決
平成 27 年度奄美市公共下水道事業特別会計予算について	原案可決
平成 27 年度奄美市農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
平成 27 年度奄美市ふるさと創生人材育成資金特別会計予算について	原案可決
平成 27 年度奄美市と畜場特別会計予算について	原案可決
平成 27 年度奄美市交通災害共済特別会計予算について	原案可決
平成 27 年度奄美市水道事業会計予算について	原案可決
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	原案可決
奄美市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
奄美市地域包括支援センターの包括的支援事業等の実施に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
奄美市企業立地等促進条例の適用の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市名瀬農村環境改善センター条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市定住促進住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市特別用途地区内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市いじめ問題調査委員会設置条例の制定について	原案可決
奄美市道路線の廃止及び認定について	原案可決
教育委員会委員の任命について	同意
奄美市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

※前議会からの継続審査

件 名	議決結果
公契約における公正な賃金確保等に関する陳情	継続審査

請願・陳情の状況

番 号	件 名	提 出 者	結 果
陳情第 1 号	陸上自衛隊ミサイル部隊配備受け入れの撤回を求める陳情	集团的自衛権行使と戦争のための自衛隊配備に反対する奄美ネットワーク代表 高 幸広	不 採 択
陳情第 2 号	「集团的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回決議」の採択を求める陳情	城村 典文	不 採 択
陳情第 3 号	「商店版リフォーム助成制度の創設」を求める陳情	奄美民主商工会事務局長 岡田 美幸	継 続 審 査

※請願や陳情が採択された場合については、議会本会議で意見書としても可決し、内閣総理大臣をはじめとする国の各省庁などの関係機関に送付することもあります。

第一回定例会 常任委員会の審査概要

第二回定例会における常任委員会では、二月二十日に文教厚生・産業建設、二十三日に総務企画のそれぞれで委員会が議案・陳情について審査しました。常任委員会での審査についてご紹介します。

総務企画委員会

総務企画委員会では、議案一件及び陳情二件を審査し、議案一件を原案のとおり可決すべきものと決し、陳情二件のうち一件を継続審査、一件を賛成少数により不採択とすべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、奄美看護福祉専門学校の魅力アップや情報発信、さらには医療・福祉分野などの人材育成と地元での人材確保という観点から支援を行うために、奄美看護福祉専門学校支援事業補助金を二千万円計上

したとの説明がありました。委員から、今回の負担金以外にも奄美市から補助が出ていると思うが、トータルでいくらになるのかとの質疑に対し、これまで建設資金の元利補給に対する支援を行っている。今年度は二千六百万円を予算計上している。二十七年度的については、最終年度となり三百二十万円を、一千万円と別途で支援を行う予定との答弁がありました。

農林水産物輸送コスト支援事業補助金の減額補正は、事業実施の見込みによる減額であるとの説明がありました。委員から、離島はモノもヒトも運賃が掛かるが、せっかくの交付金であるから、もっと幅を広げて対応できるようにならないかとの質疑に対し、農林水産物輸送コスト支援事業補助金は、対象品目ももちろん決まっていますが、今後、県国に対して、対象作物等の拡大等を要望していきたいとの答弁がありました。

文教厚生委員会

文教厚生委員会では、議案六件を審査し、すべて原案可決すべきものと決しました。

一般会計の補正について、当局から地域住民生活等緊急支援事業において七十歳以上の住民税非課税の方を対象に、交通機関（バス・タクシー等）が利用できる補助券（五千円分）を交付し、利用者の負担軽減を図り、併せて高齢者の交

した。
自治振興費において、負担金補助及び交付金の二千万円の減額は、コミュニティ助成事業の採択が一件にとまったことが主な要因であるとの説明がありました。
委員より、コミュニティ助成補助金というのは、集落の改修関係の事業なのかとの質疑に対し、こちらの事業は、一般コミュニティ事業といい、集落の活動に必要な机やイス、放送器具等の備品等の購入の事業である。予算上では五団体ほどを見込んでいたが、本年度の採択は二団体となつて、減額したとの答弁がありました。

通機関利用ニーズ調査を

実施するための費用として
三千八百二十五万円。大川小
中学校・小湊小学校に設置し
た緊急地震速報装置を残り
の二十六校に設置するための
費用として三百七十九万一千

円。奄美振興会館ホール・舞
台袖の諸幕の取換え費用とし
て千九百十万円。保健衛生費
において、働く世代の女性が
検診推進事業費補助金として
二百五十七万九千円をそれぞれ
計上した。環境衛生費におい
て、九名の方及び募金箱によ
る世界自然遺産登録推進寄付
が百八十五万七千円あった、な
どの説明がありました。

障害児保育事業費の増額は、
障害児四名予定が六名に増え
たこと。地域包括支援センター
運営費の委託料の増額は、新
規要支援認定の方が増えたこ
とから地域包括支援センター
内で処理しきれないケアプラ
ン作成を外部の居宅介護支援
事業者等に委託するもの。実
践的防災教育総合支援事業の
効果については、児童・生徒は
訓練を繰り返すうちに安全を
確保して高いレベルに逃げてい
くという意識ができてきた、と

の答弁がありました。

委員から、死にハブも買いま
げるようにしてほしい。スポー
ツ団体への助成について、研修
や任意の大会への助成も検討
してほしい、との要望も出され
ました。

奄美市立幼稚園保育料等徴
収条例の一部改正について、当
局から子ども・子育て支援法の
公布施行に伴うもので、保育
料が定額徴収から保護者の収
入に応じた応能負担制となり、
入園料を原則徴収せず、第2
子の保育料を半額に、第3子
以降の保育料を無料とする多
子世帯に対する負担軽減制度
を導入するもの、との説明があ
りました。委員から今後5年
間で笠利町及び名瀬の保育料
について検討することの質疑
があり、認定こども園に参加
するかどうかの検討と併せ
両地区の保育料の在り方につ
いても検討する、との答弁があ
りました。

介護保険事業特別会計では、
高齢者元気度アップポイント
事業について質疑があり、グ
ラウンドゴルフについてもポ
イントを付与するようについてほ
しいとの要望がありました。

産業建設委員会

産業建設委員会では、議案
三件を審査し、いずれも原案
のとおり可決すべきものと決し
ました。

一般会計補正予算で委員会
所管の主なものは商工費、奄
美の海満喫「海」エリア総合
整備事業（大浜海浜公園整備）
は、破損箇所があり緊急性が
高い小浜遊歩道の早期完成の
ため、大浜海浜公園分の設計
委託料を工事費に組替するも
の。総務費の負担金、補助及び
交付金のうち四千万円は、平成
二十三年度から行っている「住
宅リフォーム等助成金」を引続
き実施するもの。土木費の小
宿土地区画整理事業費委託料
千六百万円の減額は、換地設
計業務委託費の減額。これは、
小宿土地区画整理事業に対す
る地権者の合意形成に時間を
要しているため、平成二十六年
度内の執行が難しく、予算減
額するもの。なお、この予算に
つきましては、平成二十七年
度当初予算に計上していること
の説明。委員からの質疑に合意形
成については今後、促進協議会

の皆さんの協力を得ながら住
民の皆さんへ説明し合意形成
を上げていきたいと答弁。その
他公共下水道事業特別会計補
正予算の下水道使用料の減の
要因はとの質疑に対し主要
因は、人口減によるものだと考
えているとの答弁。また、繰越
明許費について、水道事業会計
補正予算の用地購入費等の増
額などについて質疑がありま
した。

※地域住民からの要請を受け
て、産業建設委員会は四月中
旬に土砂流出が発生した碎石
場を四月二十七日視察。業者や
関係機関と協議し、安全対策
の徹底を求めました。



住用町市集落近くの碎石場

あなたのまちの議会を間近で見ませんか！！

平成27年第2回定例会は6月19日開会予定です

一般質問は、6月22日（月）から25日（木）までの予定です。（質問者は未定）

第一回 定例会 特別委員会の審査概要

第一回定例会に上程された平成二十七年年度の各会計予算議案等の審査のため、一般会計と特別会計に分けて二つの特別委員会を設置いたしました。

三月十三日、十六日、十七日の三日間の日程で慎重に審査をいたし、最終本会議に報告採決の結果、可決となりました。審査の一部を紹介いたします。

【一般会計予算等審査】

一般会計予算等審査特別委員会で、三日間の日程で議案十一件を審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計予算については、総務費関係では平成二十五年度から二十七年まで計画の防災行政無線デジタル化改修工事費を財産管理費で公有財産購入費に一億四百万円計上し朝戸の土地の購入するもの。会計管理費では平成二十七年から導入される各種市税や住宅使用料・保育料等の「ソフト」収

納に伴う収納代行手数料としまして百万千円を計上。奄美市市政施行十周年記念事業は、記念式典・祝賀会のほか、各種PR事業・沖縄との交流事業や名瀬・住用・笠利をつなぐイベントなどを計画。紡ぐきよらの郷づくり事業費では、合併十周年を記念して、多くの市民が参加し祝うことができるイベントの事業を募集する。委員より、公有財産購入費について質疑があり、一万一千二百円／平方メートルで面積は二筆で九千二百六十・六八平方メートルとのこと。農林水産業費では、農林水産物輸送「ソフト」支援事業費補助金二千五百一十一万四千円は流通条件の不利性を軽減し、本土との競争力アップと販路拡大に向け、引き続き輸送「ソフト」の支援を行う。委員より質疑があり、ゆうバックや加工品、水産物の沖縄向けについても対象となるよう要望したいとの答弁。土木費では末広・港土地区画整理事業費は、末広・

港線道路工事と整地工事及び建物移転補償九棟が主なもの。名瀬運動公園事業費の工事請負費二千万円は屋内プールろ過器改修工事を計画。消防費について消防団員について質疑があり、現在定数四百五十二人に対して四百五人実員で入団率は八九・六パーセント。住宅用火災報知器の設置率について質疑があり、名瀬七八・九パーセント、笠利六七・九パーセント、住用九〇・七五パーセント三地区合計で七七・五九パーセント今後も努力していきたいとのこと。教育費では子どもたちの情操育成事業として「花いっぱい・ゴミゼロ学校づくり」「奄美市少年少女合唱団」等を計上。学校建築費では小湊小学校校舎建築事業費に四億五千五百四十八万六千円、赤木名小学校屋内運動場改築事業費に一億三千二百一十二千円、金久中学校屋内運動場改築事業費に四億三千二百四十四千円を計上。また、奄美市いじめ問題調査委員会設置条例の制定について説明があり、いじめによる重大事態が発生した場合に、その事態に対処するための付属機関として調査委員会を

設置する。委員より質疑があり、重大事態とは、命にかかわることと財産に重大な被害が生じたときも想定しているとの答弁。名瀬・住用学校給食センター整備に係る基本設計業務委託料等を計上。また、第三十回国民文化祭の奄美市のイベント開催に要する経費千六百万六千円を計上。委員より質疑があり、国民文化祭については、今年十月三十一日にオープンング。十一月一日に民謡民舞日本二フエスティバルイン奄美を開催、十二月七日八日に日本各地の様々な文化芸能を奄美の出演者を交えて披露する予定との答弁。そのほか地方債残高等など幅広く質疑がありました。

【特別会計予算等審査】

特別会計予算等審査特別委員会で、一日間の日程で十四件の特別会計予算議案について審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

国民健康保険事業特別会計では、保険財政共同安定化事業拠出金についての質疑があり、今までは三十万円以上八十万円までの間の分だけしセブ

トが対象だったものが、一円以上という事で、すべてのしセブトが対象となるために、対象の枠が倍になったとの説明がありました。

後期高齢者医療特別会計予算では、歳入について、普通徴収と滞納繰越分は、徴収率何%を見込んでいるのかとの質疑があり、現年度普通徴収分の保険料の予算については、徴収率を見込んで保険料を算出しているという事ではなく、広域連合に保険料納付金を納めているが、その保険料納付金の見込み額を予算として組んでいる。滞納繰越分については、徴収率四十パーセントを見込んで算出しているとの説明がありました。

奄美市指定介護予防支援等の事業の人員と運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定については、要支援一と二を地方自治体に移して計画を立てるという事だが、どういう計画かとの質疑があり、要支援一と二の認定を受けている介護予防認定者については、国の基準において全国で統一して

行っているものを、市町村で、地域支援事業という形で行うという法改正がなされている。訪問介護と通所介護については地域支援事業で行うようになつてきているの説明がありました。

公共下水道事業特別会計予算では、公共下水道建設費の委託料が増えている要因についての質疑があり、処理場の汚泥処理、水処理施設の機械、電気設備等の高額なものが更新となつてきているための説明がありました。

ふるさと創生人材育成資金特別会計予算では、貸付金の返済状況と滞納者への対応について質疑があり、二十五年現在、貸付金一億七千四百六十二万三千四百九十円。返還にかかる分が一億二千七百二十一万三千四百九十円。そのうち、滞納分については、三千六万九千九百九十円となつている。滞納の方には年一回通知を出しており、その中で、返事が来る方、連絡がつかない方がいるが、極力接触を図って、滞納の回収に取り組んでいるとの説明がありました。

議会報告会でのご意見などをご紹介します

奄美市議会報告会における当局への意見・要望事項

【名瀬地区】

○自宅介護を行う中でストレスによる犯罪が増えている。議会と行政とで再発防止の取組をしてほしい。介護に対する情報（地域包括支援センター等の相談窓口）提供をしてほしい。

○自衛隊についての市民論議がされていない。賛成論議と反対論議を聴いてから結論を出してほしい。与那国島は民意を吸い上げるために住民投票を実施する。奄美市も住民投票実施に向けて、自治基本条例をつくるよう検討してほしい。

○農地を借りた人が農地を元通りにしないで放置している。営農センターは借地人に対しどのような指導をしているのか、説明をしてほしい。

○介護保険制度の見直し・介護報酬の削減等を国が打ち出している。国に対し地域から声を上げてほしい。（声を上げることが大事してほしい。）

○まちづくりと町内会づくりについて、旧名瀬市時代（10年前）は83の自治会があったが、現在は65の自治会が活動している。自治会会長のなり手がなく、休眠状態の自治会や廃止となつた自治会が増えていて、コミュニティが崩壊しつつある。

【住用地区】

○住用地区は豪雨災害後、引っ越しや住宅問題など人口減少が著しい。地域活性化に向け取り組んでいただきたい。

○城地区の地籍調査の現状について。進捗されていないどうなっているのか。

○神屋地区への農業用水事業を

○予算において介護や国保費用が大きい。高齢化に伴い担当課にも十分に勉強して知識をつけてもらいたい。

○現在、リフォームについては補助金制度がありますが、家の取り壊しについては、何にも考えられていない。古家が多く取り壊すにしても経費が高く、なかなか手を付けようがなく、台風などがあると災害の原因になりかねない。何とか補助金制度を要望します。

【笠利地区】

○自衛隊の誘致について、所属する民間団体では会員に知らされずに一部の人たちが代表で賛意を示した。市民全体で話し合える場をつくってほしい。

○親子ラジオの戸別受信機はいつごろ設置されるのか。

○バニラエアによる観光客増加の受け皿づくりを進めてほしい。世界自然遺産とどのように結び付けるか考えてほしい。

○観光プロジェクトによるまち歩きマップ作りについて、地域の人々を巻き込んで作業を進めてほしい。

議 会 の 動 き

- 平成27年 2月 1日 奄美観光桜マラソン
 5日 議会だより編集委員会
 6日 議会報告会
 7日 市美展開会式
 9日 千葉県芝山町長・議長、市長表敬訪問
 14日 奄美地区郵便局長会総会
 15日 笠利生涯学習講座合同閉講式
 16日 議会運営委員会・全員協議会
 20日 第1回定例会開会、産業建設委員会、文教厚生委員会、
 23日 総務企画委員会
 24日 本会議・全員協議会
 26日 市町村議会議長会（大島郡）
- 3月 1日 平成26年度「名瀬・住用地区生涯講座閉講式並びに発表会」
 5日 一般質問 元野議員、奥議員、竹山議員、崎田議員、栄（ヤ）議員
 6日 一般質問 関議員、叶議員、川口議員、西議員、安田議員
 9日 一般質問 平川議員、渡（雅）議員、戸内議員、栄（勝）議員
 議会運営委員会・会派代表者会
 13日 予算等審査特別委員会
 16日 全員協議会、予算等審査特別委員会
 17日 予算等審査特別委員会
 18日 会派代表者会
 22日 網野子トンネル安全祈願祭・開通式
 26日 最終本会議
 29日 朝日小学校附属幼稚園新園舎落成式
- 4月 1日 奄美市合同入社式
 9日 議会議長・事務局長合同会（大島郡）
 12日 関西奄美会総会並びに芸能大会
 20日 会派代表者会
 21日 ばしゃ山村海開き
 28日 県政説明会



朝日小学校附属幼稚園

市議会だより編集委員会	
委員 長	元野 景一
副委員 長	竹山 耕平
委員	西 公 郎 栄 ヤ ス 工 多 田 義 一 関 誠 之 平 川 久 嘉 渡 京 一 郎 崎 田 信 正

編集あとがき

今年度は奄美市が誕生して十年目になります。合併当初は市民の皆様にも何かと不安や不満もあったのではないのでしょうか。丸九年が経過し、旧三市町村の良いところが生かされ、一体感のある奄美市になっているように感じます。

議会は皆様から寄せられた情報やご意見等を参考に、行政の実態を調査し執行部と議論し、市民の方々が安心して暮らせる公平な街づくりが最大の使命であります。議員は市民の方々の代弁者であります。市民の皆様のご意見、要望、提言等を議員に届けていただくことで、議会活動が活発になり、しいては市民の方々が暮らしやすい奄美市になるのではないのでしょうか、いろいろな意見等がいただければ幸いです。

市民の皆様と議会との懸け橋の一助になるよう親しみやすい「市議会だより」これからもお届けいたします。と思っております。

（渡 京一郎）

奄美市議会ホームページアドレス <http://www.city.amami.lg.jp/amami02/amami24.asp>